

海外研修制度候補者追加募集について

日本義肢装具学会では、会員が海外の主要な義肢装具関連学会に発表すること、もしくは主要な海外の義肢装具関連施設を訪問して情報交換を行い、交流を深めることを支援する海外研修制度を設けております。残念ながら2021年度（2021年9月～2022年8月）募集への応募はごさいませんでした。本年4月24日から27日までの4日間に渡って開催されます第19回 ISPO（International Society for Prosthetics & Orthotics）世界大会（メキシコ・グアダハラ大会）に合わせて、追加の募集をさせていただきます。

応募要項

1. 補助対象者：2023年4月24日から27日までメキシコ・グアダハラで開催される第19回 ISPO 世界大会に参加・発表するものに対して最大2名
2. 助成額：一人30万円以内（交通費、宿泊費、学会参加費の一部補助）
3. 応募資格：下記の条件を全て満たしていること
 - (1) 応募締切日において、本学会の会員歴が3年以上であること
 - (2) 応募締切日において、45歳以下であること
 - (3) 主演者としての本学会の設立趣意に関連する分野での英語での学会発表（国際学会／国内学会、海外開催／国内開催、口頭発表／ポスター発表を問わない）または筆頭著者としての英語原著論文のいずれかがあること
 - (4) 本学会正社員の推薦が得られること
 - (5) 学会発表補助の場合、主演者として演題申込を行っていること
 - (6) 原則として、本海外研修に関するその他の助成金を取得していないこと
4. 募集期間：2023年2月4日～2023年3月31日（必着）
5. 補助対象期間：第19回 ISPO 世界大会（メキシコ・グアダハラ）開催前後

補助を受けた会員は第19回 ISPO 世界大会終了後3カ月以内に、海外研修報告書を国際化委員会宛に提出していただきます。これも、日本義肢装具学会のホームページに掲載いたします。

学会参加費について領収証をもとに補助しますので、研修終了後に提出をお願いします。

補助決定後に何らかの理由で補助対象となった研修が年度内に行われない状況となった場合、補助は中止されます。